

令和5年度 障害者虐待対応状況調査の結果

令和5年度に、県内において把握された「障害者福祉施設従事者等による障害者虐待」及び「養護者による障害者虐待」の状況をお知らせします。

1 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待

(1) 相談・通報対応件数

	障害者福祉施設従事者等による障害者虐待
市町村等への相談・通報件数	36件
市町村等による虐待判断件数	11件

(2) 相談・通報者（複数回答）

「当該施設・事業所設置者・管理者」が 33.3%と最も多く、次いで、「本人」が 13.9%であった。

	本人	家族・親族	近隣住民・知人	民生委員	医療機関関係者	教職員	相談支援専門員	当該施設・事業所設置者・管理者	当該施設・事業所サービス管理責任者	当該施設・事業所サービス提供責任者	当該施設・事業所児童発達支援管理責任者	当該施設・事業所その他の職員
人数	5	2	0	0	1	0	3	12	1	0	0	2
構成割合	13.9%	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	8.3%	33.3%	2.8%	0.0%	0.0%	5.6%

	当該施設・事業所元職員	当該施設・事業所利用者	当該施設・事業所受け入れをしている実習生	他の施設・事業所の職員	当該市町村行政職員	警察	運営適正化委員会	居宅サービス事業等従事者	成年後見人等	その他	不明（匿名を含む）	合計
人数	2	0	0	2	2	1	1	0	0	3	1	38
構成割合	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	8.3%	2.8%	

※構成割合は相談・通報件数に対するもの

(3) 虐待の状況

県内の障害者福祉施設における障害者虐待の状況は以下のとおりです。

①虐待が認められた事業所種別

	障害者支援施設	生活介護	就労継続支援A型	就労継続支援B型	共同生活援助	児童発達支援	放課後等デイサービス	合計
件数	3	1	1	2	1	1	2	11
構成割合	27.3%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	100.0%

※構成割合は虐待判断件数に対するもの

②虐待の類型（複数回答）

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄・放置	経済的虐待
件数	7	2	5	0	0
構成割合	63.6%	18.2%	45.5%	0.0%	0.0%

※構成割合は虐待判断件数に対するもの

③被虐待者の性別

	男性	女性	合計
人数	7	4	11
構成割合	63.6%	36.4%	100.0%

※構成割合は被虐待者数に対するもの

④被虐待者の障害種別（複数回答）

	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	難病等
人数	1	9	1	1	0
構成割合	9.1%	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%

※構成割合は被虐待者数に対するもの

⑤虐待を行った障害者福祉施設従事者等の職種

	管理者	看護職員	生活支援員	職業指導員	就労支援員	児童指導員	その他従事者	合計
人数	2	1	4	1	1	1	1	11
構成割合	18.2%	9.1%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	100.0%

※構成割合は虐待判断件数に対するもの

⑥虐待が認められた事例への対応状況（複数回答）

	件数
施設等に対する指導	10
改善計画の提出依頼	5
虐待を行った施設従事者等への注意・指導	5
改善勧告	0
その他	0

2 養護者による障害者虐待

(1) 相談・通報対応件数

	養護者による障害者虐待
市町村等への相談・通報件数	434件
市町村等による虐待判断件数	81件

(2) 相談・通報者（複数回答）

「警察」が70.7%と最も多く、次いで「施設・事業所の職員」が9.9%、「相談支援専門員」が8.3%であった。

	本人	家族・親族	近隣住民・知人	民生委員	医療機関関係者	教職員	相談支援専門員	施設・事業所の職員
人数	22	1	0	0	3	0	36	43
構成割合	5.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	8.3%	9.9%

	虐待者自身	警察	当該市区町村行政職員	居宅サービス事業等従事者等	成年後見人等	その他	不明	合計
人数	0	307	11	4	0	8	0	435
構成割合	0.0%	70.7%	2.5%	0.9%	0.0%	1.8%	0.0%	

※構成割合は相談・通報件数に対するもの

(3) 虐待の類型（複数回答）

「身体的虐待」が72.8%と最も多く、次いで「心理的虐待」が32.1%、「経済的虐待」が9.9%であった。

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄・放置	経済的虐待
件数	59	1	26	6	8
構成割合	72.8%	1.2%	32.1%	7.4%	9.9%

※構成割合は虐待判断件数に対するもの

(4) 被虐待者の性別及び年齢

性別では「男性」が37.0%、「女性」が63.0%と「女性」が多い状況であった。
年齢階級別では、「30～39歳」、「40～49歳」が23.5%と最も多く、次いで「20～29歳」が21.0%、「50～59歳」が18.5%であった。

	男性	女性	不明	合計
人数	30	51	0	81
構成割合	37.0%	63.0%	0.0%	100.0%

被虐待者の年齢

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	不明	合計
人数	5	17	19	19	15	4	2	0	81
構成割合	6.2%	21.0%	23.5%	23.5%	18.5%	4.9%	2.5%	0.0%	100.0%

※構成割合は被虐待者数に対するもの

(5) 被虐待者の障害種別（複数回答）

被虐待者の障害種別では、「精神障害」が49.4%と最も多く、次いで「知的障害」が46.9%であった。

	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	難病等
件数	6	38	40	1	3
構成割合	7.4%	46.9%	49.4%	1.2%	3.7%

※構成割合は被虐待者数に対するもの

(6) 被虐待者からみた虐待者の続柄（複数回答）

被虐待者からみた虐待者の続柄は、「父」が最も多く 37.6%、次いで「母」が 24.7%、「夫」が 18.8%であった。

	父	母	夫	妻	息子	娘	嫁	婿
人数	32	21	16	1	2	0	0	0
構成割合	37.6%	24.7%	18.8%	1.2%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%

	兄弟	姉妹	祖父	祖母	その他	不明	合計
人数	8	0	0	1	4	0	85
構成割合	9.4%	0.0%	0.0%	1.2%	4.7%	0.0%	100.0%

※構成割合は虐待者数に対するもの

(7) 虐待への対応策

虐待への対応として、「虐待者からの分離を行った被虐待者数」は 17 人であった。一方、「被虐待者と虐待者を分離していない被虐待者数」は 44 人であった。

虐待への対応策としての分離の有無	新潟県	
	人数	構成割合
被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った被虐待者数	17	21.0%
被虐待者と虐待者を分離していない被虐待者数(一度も分離していない)	44	54.3%
もともと虐待者とは別居の被虐待者数	10	12.3%
その他	6	7.4%
現在対応について検討・調整中の被虐待者数	4	4.9%
合計	81	100.0%

※構成割合は被虐待者数に対するもの